

生活を支える水道水

東久留米市立南中学校

一年四組

岡崎 直斗

僕は、喉が乾いたときに水道水を飲みます。喉が乾いた時に飲む水道水が、すごくおいしいです。僕が思う、水道水の良いところは、蛇口をひねるだけで、おいしい水が出てくるところです。

このおいしい水は、多くの人の努力で成り立っているのです。僕が小学生の時に、水道

局の人達が、学校に来てくれて、水道水のことを詳しく教えてくれました。その時に「おいしい水道水ができるまで、水道局では何度も水質検査をして、水が泡立っていないか、病気の原因になるものが含まれていないか、そして消毒に使った成分が残っていないかなどを、毎日二十四時間細かく検査します。」と言っていて、すごく驚きました。浄水場では、川からとった水に混ぜた、砂や泥、ばい菌などを取り除いたり、消毒したりして、安全

な水をつくるそうです。他にも浄水場では、川の水を水そうに入れて生きている魚を泳がせ、魚の動き方に異常がないか観察する検査もしているそうで、川の水も安全か、いろんな場所で検査をしていて、本当に感謝しています。その理由は、僕は夏休みなどに、「落合川」という川で、よく遊ぶので、川の水も安全かいんな場所で検査をしてくれていると、これから安心して遊ぶことが出来るからです！

こうやって、各家庭に水道水が運ばれ、生活を支えてくれるのです。そして、僕はインターネットを使って、水道水の綺麗さを調べました。その時に、安全な水をつくるために必要な川の水と水道水を比較した時にすごく綺麗になっていて、日本の技術力の高さを改めて感じました。

しかし、世界中に水道水があるわけではありません。世界には約二百の国がありますが、その中で安全に水道水を飲める国はたった九

りました。

カ国しかないそうです。バングラデシユという国のように、水道の代わりに井戸があつても水にヒ素という毒が含まれていたり、そもそも井戸さえない国もあります。水道がない地域では、一日に何時間もかけて水くみに行き、「汚い！」と分かつていても、その水を飲むしかなく、お腹を壊してしまう小さい子どもたちがすごく多いそうです。生まれた場所が違っただけで、こんなにも違う生活になつてしまふのだと考えると、悲しい気持ちになりました。

また、僕は小学生の時に、中休みや昼休みが終わつた後、校舎に戻り水道水を飲んでいました。が、世界の約百八十カ国が水道水がないので、毎日が大変だなと思いました。そして、子どもたちは水くみのために学校を欠席したり、不衛生な水で体調を崩し、また欠席をするそうです。なので、僕は将来、すべての人が清潔な水を飲めるようになるために、支援団体へ寄付したり、支援団体で働き、衛

生を保てるようにトイレを設置したり、世界の
人々に石けんを使った正しい手洗いの方法
などの教育をしたり、井戸水など給水設備の
建設をしたいなと思いました。

僕は、この作文を通して、水道水の大切さ
を改めて知りました。これからは、水道水の
出しっぱなしは絶対にしないように心がけた
いです。